

平成25年度中学校武道授業(少林寺拳法)指導法研究事業



平成25年度中学校武道授業(少林寺拳法)指導法研究事業〔主催=(公財)日本武道館、(一財)少林寺拳法連盟、日本武道協議会、後援=文部科学省、協力=勝浦市立勝浦中学校〕が6月14日から16日までの3日間、千葉県勝浦市日本武道館研修センターにおいて実施された。

■1日目(6月14日)

開講式

15時30分より第2研修室において、開講式が行われ、三藤芳生日本武道館理事・事務局長が、続いて少林寺拳法連盟より中島正樹中学校武道必修化プロジェクト委員長が主催者挨拶を行った。この後、研究者紹介と記念撮影が行われ、日程案に沿って事業がスタートした。

○事前打合せ・指導案指導法予備講習



事前打合せの様子

16時より行われた事前打合せでは初めに中島研究者を中心に翌日の各実践研究計画・研究者担当割の詳細を説明・確認した。

続いて19時30分より行われた指導案指導法予備講習では、各研究者から提出された指導法案に基づき文言等を中心に検討を行った。「しっかりとしたもの最初から細かく作ろうしすぎではないか」、「指導書には技の写真を多く掲載したほうがよい」、「生徒達に単元のゴールを最初にみせないとイメージができないのではないかなど」の様々な意見が交わされ1日目を終えた。

■2日目(6月15日)

○実践研究①



安田研究者による指導

午前9時より向田弘之研究者を授業者とし、勝浦市立勝浦中学校美術部・家庭科部計17名を対象に実践研究を行った。向田研究者より「少林

寺拳法は、相手の攻撃があつてそれに対応していく護身術です。大切なことは心を磨くこと。礼法とは、相手のがんばっている姿勢を尊敬する意思表示です」と説明し礼法の実践に入った。

そののち、基本指導へと展開し、突きの指導では、突きとともに「気合い」をお腹から出すようにとの注意があつたが、思春期の女子とあつて生徒達はなかなか慣れない発声ができず戸惑っている様子であつた。

休憩を挟んで、授業は小井寿史研究者。2時間目の実践研究が行われた。初めに「武」を黒板に書き、「二」、「止」、「矛」と武の文字を分解、「喧嘩している相手が強ければ強いほど、止めるには強い力がある。強い心と体を身につける必要があります」との説明を加え、授業が開始された。昼前には攻者・守者の二人一組になり習ったばかりの基本の技での演武を発表した。



2人で演武発表会

最後の授業では、中島研究者を授業者とし、勝浦中学校美術部、家庭科部の演武会を行った。緊張が高まる生徒達に対し、初めに黙想を行い「頭と背中がまっすぐになるように。集中力を増すために呼吸を整えることが大切」と説明。続けて「心と体をつなぐものは気。気は見えないが、気合いの大きさでそれを表すことができます」との声掛けで「気合いの競争」を行った。美術部と家庭科部にわかれ、開足中段構から中島研究者の号令で、気合いをいれながら突きを行い、どちらのチームがより声を出せるか競争。生徒達は徐々に声が出るようになり、緊張も和らいだようであつた。

中島研究者の「自信をもってやってください」と開始の言葉後、演武会となった。

生徒達は緊張しながらもそれぞれのレベルで真剣に演武を行っていた。最後に中島研究者より「武道をむやみに人に使わないでほしい。守って反撃の少林寺拳法、武道の本質をわすれないでほしい」との挨拶があり実践研究を終了した。

○指導法案指導法研究・協議

19時30分より行われた研究協議では、中島研究者より「最後の授業では、美術部と家庭科部を向かい合わせて気合いをいれることを追加した」。

『礼の実践』は、武道文化を学ぶこと。それはグローバル化した社会で生きていく上で重要であると思う。また「演武会を体験させるのは非常に大切であると感じた。演武会では生徒間で評価をしてもらえば動機づけにつながりやすいのではないか」等の感想が出され、最後に提案された意見を検討し今後の指導法を検討していきたいとの総括があり、2日目の研究協議を終了した。

■3日目(6月16日)

9時より授業の評価基準の研究・協議が行われ、まとめとして、向井氏より「いかにして少林寺拳法体育授業を若手の体育教員に理解してもらうのが重要であろうと思う。若手の教員が魅力を感じる指導法を構築していくことが大切」。小井氏より「現場の状況を包み隠すことなく実情報告することが重要である」。最後に中島氏より「誰でもできるような目線で指導法を一貫して作成することが重要であると思う。少林寺拳法を採り入れたい学校をどんどん開拓していくべきある」との総括があり研究事業のすべてを終了した。



◇研究者

中島 正樹 (富士見丘中学校・高等学校 教諭)
合田 雅彦 (愛媛県少林寺拳法連盟 副理事長)
安田 智幸 (金光学園中学高等学校 教諭)
向田 弘之 (一般社団法人 SHORINJI KEMPO UNITY)
小井 寿史 (笠岡市立新吉中学校 教諭)

◇少林寺拳法連盟事務局

田中 由喜 (振興普及部 指導課)

◇日本武道館事務局 2名 (順不同・敬称略)